

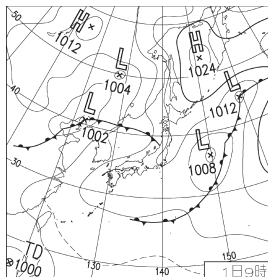
日々の天気図

— No. 55

2006年 8月

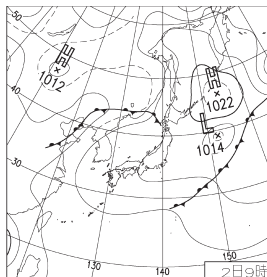
- ・ 8日～9日、台風第7号東海沖を東進。三宅島36.1 m/sの最大瞬間風速と390 mm/24 hの大雨を記録。
- ・ 18日～19日、台風第10号九州縦断。宮崎県日之影町見立510 mm/24 hの大雨。長崎県雲仙岳では40.9 m/sの最大風速と485.5 mm/24 hの大雨。

(気象庁予報部予報課)



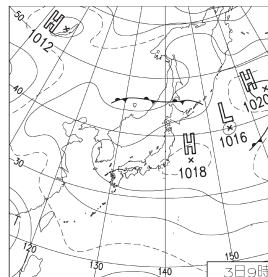
1日(火) 台風第6号発生

日本付近は北から高気圧に覆われ、北陸には日本海中部から前線がのびる。東北・北陸・関東は概ね曇り、前線付近で雨。その他は晴れ。気温の平年差の分布は「北冷西暑」型。



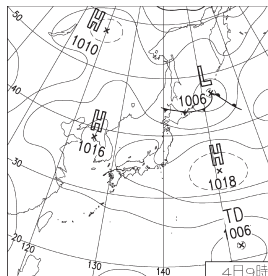
2日(水) 東北の梅雨明けを発表

梅雨前線が日本海を北上、北海道で曇り一部で雨の他は晴れ、西日本の山沿いを中心に午後～宵の内雷雨。広島県府中市上下で55.5 mm/1 h、北海道函館市でアブラゼミ初鳴き。



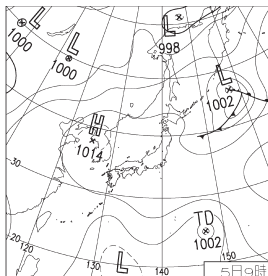
3日(木) 全国的に夏らしく

北海道は北部に前線が停滞し曇り、その他は高気圧に覆われ概ね晴れ。北・東日本の前日までの低温傾向は解消。福島市で最高気温35.6℃を記録するなど各地で真夏日。



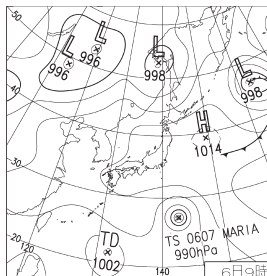
4日(金) 日本列島 厳しい暑さ

前線の影響で北海道の北部は大雨。他は高気圧に覆われて概ね晴れ。北海道釧路支庁鶴居村46 mm/1 hは歴代1位。群馬県伊勢崎市、館林市で共に最高気温38.6℃を記録。



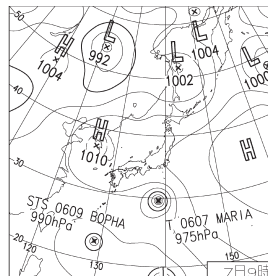
5日(土) 台風第8号発生

太平洋高気圧に覆われ、沖縄と西日本の一部でにわか雨や雷雨の他は、晴れて厳しい暑さ。岐阜県下呂市金山、郡上市八幡で最高気温38.6℃。再解析により8号が先に発生。



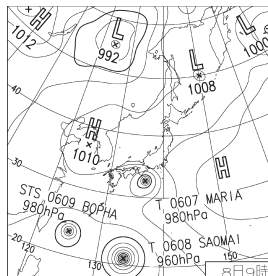
6日(日) 台風第7、9号発生

南西諸島は日本の南に発生した台風第9号の影響で雨。その他は太平洋高気圧に覆われ概ね晴れ、午後、大気の状態が不安定、所々でにわか雨。大阪府枚方市で最高気温38.2℃。



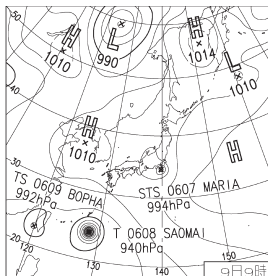
7日(月) 南海上 台風3個

和歌山県潮岬の南南東に第7号、沖縄県宮古島の南東に第9号、フィリピンの東に第8号の3個の台風が日本を覗く。日本列島は晴れて北海道と東北北部の一部を除き、真夏日。



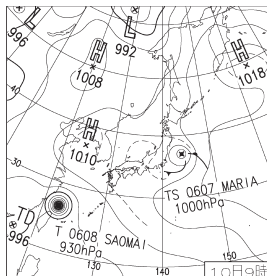
8日(火) 台風 東海地方に接近

台風第7号は東よりに向きを変え東海沖を進む。伊豆諸島は300 mmを超える日降水量。関東や東海で曇りや雨の他は全国的に晴れ。高知県須崎市で39.3℃、年間の極値を更新。



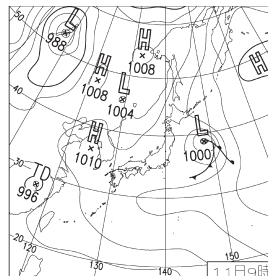
9日(水) 台風第7号伊豆諸島通過

東南部～東海で曇りや雨の他は晴れて厳しい暑さ。台風第8号は宮古島の北の海上を通過。大分県日田市三本松最高気温38.6℃、8月の1位。東京都三宅村三宅坪田75 mm/1 h。



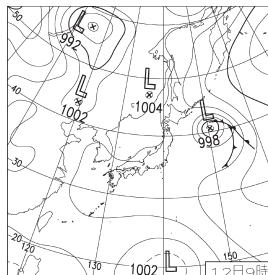
10日(木) 台風一過の晴れ

高気圧に覆われ全国的に晴れたが、台風第7、8号の影響が出た沖縄と北日本で朝の内曇り。各地で厳しい暑さとなり、岐阜県揖斐川町三輪の最高気温39.1℃、年間極値を更新。



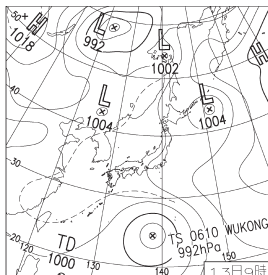
11日(金) 全国的に高い気温

高気圧に覆われるが上空に寒気が入った北・西日本は大気の状態が不安定、所々雷雨。その他は概ね晴れ。日中は平年より3～5℃高い気温。広島県東広島市八本松町73 mm/1 h。



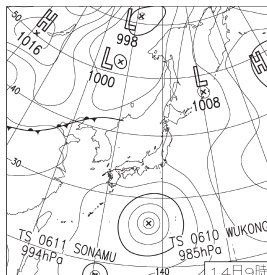
12日(土) 全官署で雷注意報発表

上空に寒気が流入、地上気温の上昇が重なり不安定な状態に。各地で雷を伴う激しい雨が降り、落雷による被害が多発。首都圏では交通機関に乱れ。石川県かほく市で50 mm/1 h。



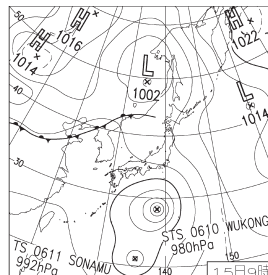
13日(日) 台風第10号発生

東～北日本に入った寒気は夜に東の海上へ。石川県輪島市門前で0時過ぎに101 mm/1 hの猛烈な雨。寒気と日射の影響で、全国的に昼過ぎには山沿い中心に雷雲が発生。



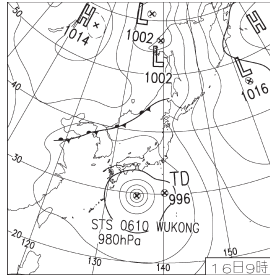
14日(月) 台風第11号発生

全国的に高気圧に覆われて概ね晴れ、所々でにわか雨や雷雨。台風第10号は南の海上をゆっくり北上。第11号はフィリピンの東海上を北東進。鹿児島県南さつま市で64.5 mm/1 h。

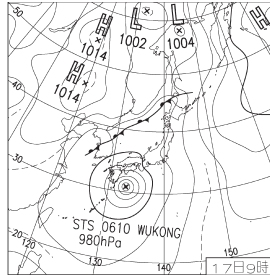


15日(火) 台風第10号ほぼ停滞

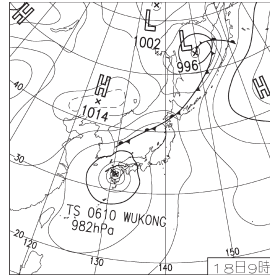
本州は高気圧に覆われ概ね晴れ。北海道は気圧の谷で曇り、東北部太平洋側と関東は湿った気流が入り曇りや雨。岐阜県多治見市で最高気温38.6℃の厳しい暑さ。



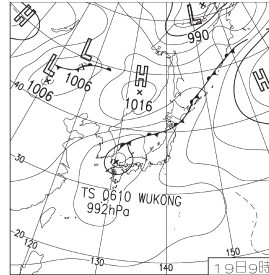
16日(水)台風第10号南海上を西進
西日本の太平洋側は曇りや雨。前線がかかった北海道や湿った気流の入った東北部と関東も曇りや雨。奈良県上北山村日出色125 mm/日。晴れた岐阜県多治見市最高気温38.5℃。



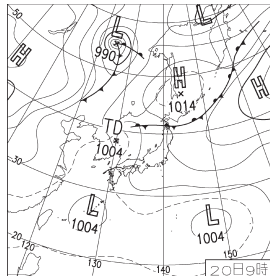
17日(木)台風第10号宮崎県沖に
関東以西は南から暖く湿った気流が入り所々で雨。北海道も前線の影響で雨。岐阜県高山市栃尾70.5 mm/1 h。東北日本海側と北陸ではフェーン現象で35℃を超える厳しい暑さ。



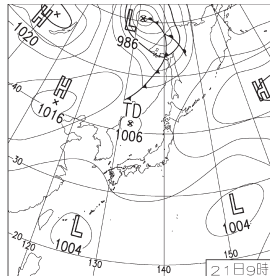
18日(金)今年初の台風上陸
台風第10号は1時過ぎ宮崎市付近に上陸。ゆっくりと北上。九州や四国では激しい雨が続き。宮崎県えびの市えびの463 mm/日。前線がかかる北海道・東北部も50 mm/1 h 強の雷雨。



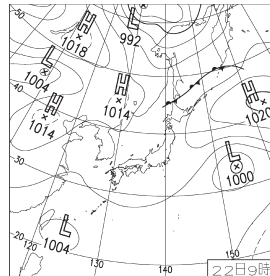
19日(土)台風第10号 日本海へ
西日本は始め台風の影響で荒れた天気。北海道では前線の活動が活発化、局地的に豪雨。高知県仁淀川町池川79 mm/1 h。北海道日高支庁新冠町新和163 mm/1 h。



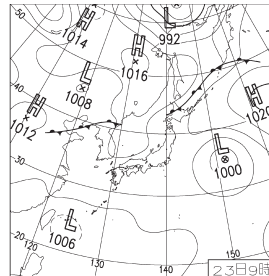
20日(日)九州の一部で激しい雨
大分県と宮崎県では南東の風が続き、午前中、一部で激しい雨。大分市佐賀間50 mm/1 h。北日本には前線が停滞し曇りや雨。その他は概ね晴れ。大阪府堺市で最高気温37.8℃。



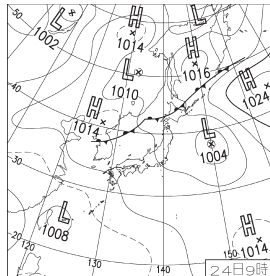
21日(月)日本海側中心に強雨
日本付近は高気圧に覆われ晴れるが、日本海側には熱帯低気圧に伴う湿った空気が流入し、広範囲で短時間強雨。広島県三次市君田78 mm/1 h等。新潟県新発田市赤谷52 mm/1 h等。



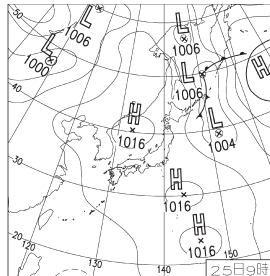
22日(火)近畿で猛烈な雨
北日本から西日本の日本海側に帯状の対流雲列が発達し南下。西日本から東日本の所々で非常に激しい雨。大阪府豊中市で110 mm/1 hの猛烈な雨。高知県梼原町で78 mm/1 h。



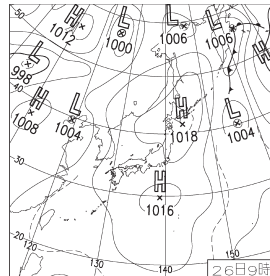
23日(水)「処暑」でも気温高い
北日本には雨が残るが東日本の一部と西日本は晴れて気温が上昇。基前後から山登り中心にわか雨や雷雨。二十四節気の「処暑」にあたるが、九州では最高気温35℃以上の所も。



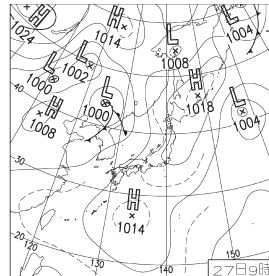
24日(木)厳しい残暑続く
北海道は前線を伴った低気圧の影響で曇りや雨。他は高気圧に覆われて概ね晴れ。引き続き大気の状態が不安定。日中の昇温によりわか雨や雷雨。大阪府堺市の最高気温36.6℃。



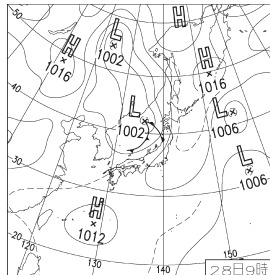
25日(金)日本海・南海上に高気圧
北陸から関東南部は気圧の谷になり曇りや雨。その他は概ね晴れ。関東以西では、午後から大気の状態が不安定になり所々で雷雨。静岡県御殿場市で50.5 mm/1 h。



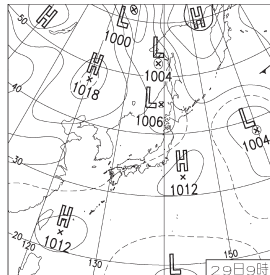
26日(土)ほぼ全国的に残暑
北日本に中心を持つ高気圧に覆われ。各地概ね晴れたが、西日本や東海では午後、にわか雨や雷雨。東北部と関東は北東風で9月上旬並みの気温。大阪府堺市37.1℃の最高気温。



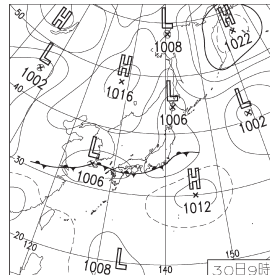
27日(日)ハリケーンから台風に
西日本では、発達した対流雲がかかり。宮崎県美郷町神門で78.5 mm/1 h。長崎県福江空港で66.5 mm/1 hの非常に激しい雨。西経域のハリケーンが日付変更線を越えて台風第12号に。



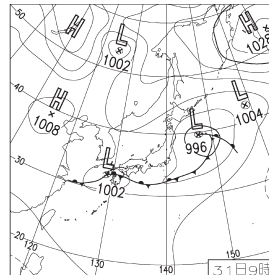
28日(月)西日本で大雨
前線を伴った低気圧が日本海北部を東北東進。西日本の一部で晴れた他は各地曇りや雨。西日本は局地的な大雨。岡山県真庭市下菅部58 mm/1 h。三重県四日市市55 mm/1 h。



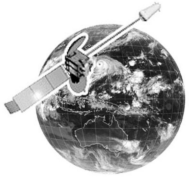
29日(火)まだまだ残暑続く
北海道に低気圧がほとんど停滞。北日本や北陸は曇りや雨。関東以西は晴れたが午後山登り中心に雷雨。北海道渡島支庁八雲町熊石54.5 mm/1 h。青森県鯉ヶ沢町48 mm/1 h。歴代1位。



30日(水)日本付近 気圧の谷
北日本に低気圧、本州南岸～四国・九州北部に前線が停滞。ほぼ全国的に曇りや雨。九州北部、四国では激しい雷雨。福岡県福岡空港64 mm/1 h。沖縄県渡嘉敷村77.5 mm/1 h。

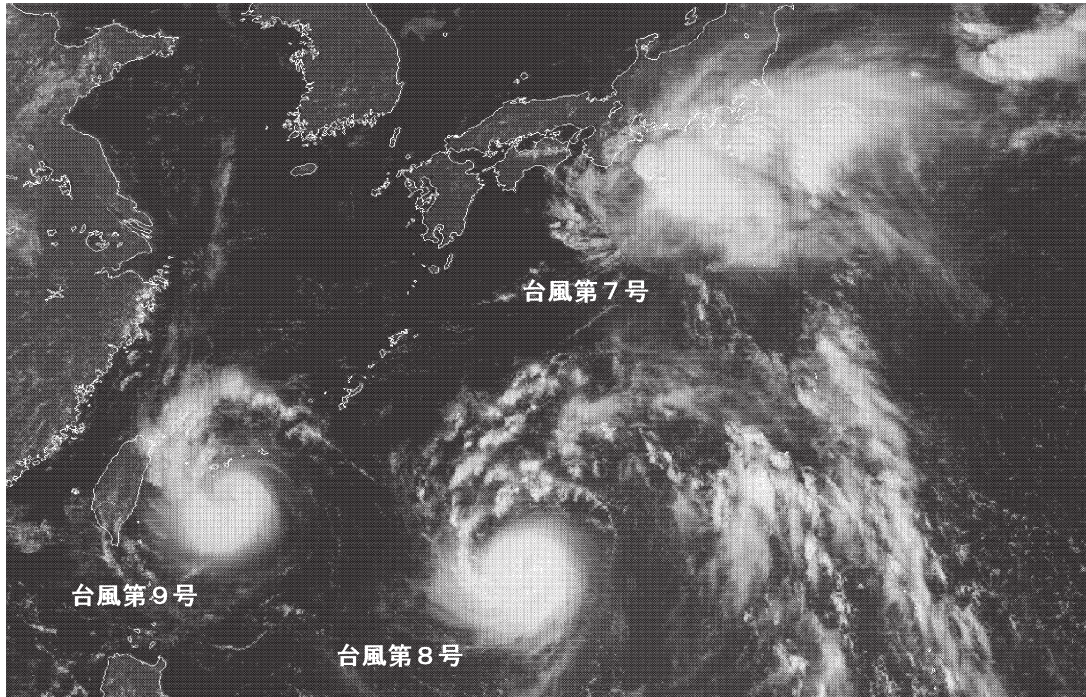


31日(木)九州 大雨続く
前線上九州を低気圧東進。西日本は雨で九州は激しく降る。北海道東部も別の低気圧の影響で雨。東日本や東北は晴れて湿度が低い。長崎県南山手町256.5 mm/24 h、8月の極値。



今月のひまわり画像—2006年8月

同時に日本に接近した3つの台風



2006年8月8日12時の可視画像

台風の年間平均発生数は26.7で、この内、日本に接近する台風の数は10.8である。月毎の平年値(1971~2000年)と比較すると8月が最も多く、発生数5.5・接近数3.4となっている。今年8月の台風発生数は7つで、この内、日本には5つの台風が接近しており、8月だけを比較すれば平年を上回る台風の発生数と接近数であった。

今回は、3つの台風がほぼ同時に日本に接近するという比較的珍しい事例があったので紹介する。

画像は、8月8日12時の可視画像である。日本の南の海上には、台風第7号・8号・9号があり、それぞ

れ日本に接近しているところを捉えた画像である。この中で、東海沖にある台風第7号は、父島近海(北緯25度付近)の比較的高緯度で発生したため発達が弱く、既にこの時刻には、活発な積乱雲が中心から東側に剥がれ衰弱期に入っている。しかしながら、この台風第7号は、8日から9日にかけて石廊崎で338ミリ・伊豆市天城山で368ミリと東海地方や関東地方南部に大雨をもたらした。衰弱期にある台風といえども、大雨や強風により甚大な被害をもたらすことがあるので厳重な警戒が必要である。

(気象衛星センター)